

# アイスホッケー部のOB会・総会

アイスホッケー部OB会 会長(8期卒) 浅見 泰宏

平成26年度アイスホッケー部OB総会を去る3月15日(土)に東京の水天宮にあるロイヤルパークホテルで開催しましたので報告させていただきます。総会にはお忙しい中、前顧問現獨協学園理事長であります寺野彰先生、現顧問であります平林秀樹先生にもご臨席いただきました。

まず総会議事案です。①平成25年度アイスホッケー部OB会事業報告、②平成25年度アイスホッケー部OB会決算報告、③平成25年度現役員活動報告及び平成26年度新幹部体制の報告、④平成26年

度アイスホッケー部OB会事業計画案について、⑤平成26年度アイスホッケー部OB会予算計画案について、⑥平成27年度アイスホッケー部OB会総会・懇親会及び幹事、副幹事選任の件、⑦会則の改定について、⑧その他(事務局報告など)以上8事案について会則に従い私が議長を務め話し合われました。我々OBが一番気になり楽しみののは現役による昨年度の活動報告です。久しぶりに経験者が入部し好成績を期待しましたが、今回有山杯はAリーグへ上がり1勝2敗、東医体は

初戦慈恵に敗れCリーグとなりCリーグ連覇を期待しましたがそれはかないませんでした。さて皆さんはいつも問題になるのは現役にいくら寄付をするのかと思いますが、コイチをしてくださる方への御礼と前年度のリンク代の報告からその半分をOB会から寄付を致します。それよりもっと頭を悩ませるのはOB会への入会と会費の徴収です。その他の事案でいつも話し合われます。医師になり10年間は忙しさと移動で所在もわからず連絡も取れず、本人のOB会入会への意志も確認できず

事務局は苦勞に絶えませんがOB会が発足するまですべて自分たちで工面していたわけですから助ける必要など無い、だから私はOB会にも入会しないし寄付もしないと思えるOBがいても不思議ではありません。

OB会を発足させ総会を行って現役員に一年間活動した決算報告をしてもらい改めてアイスホッケー部の活動にかかる金額に荷がさがります。私達も良く活動出来たと思いつながら思い起こせば、東医体の参加費はすべて学生会が支払ってくれました。そして何より学祭での売上金です。あくどいと言われながらも練習を行うリンク代の為一所懸命稼ぎそれで充分活動する事が出来ました。昨年度の活動費はとて多額で私たちの時と今はあまりにも違うようです。年々学園祭が縮小されほとんど売上げが期待できなくなりました。昨年の学祭売上げは約11万円で活動費の足しになりません。さらに新入生との接触期間が限られ短い期間で勧誘しなければならずそこへ予算を注ぎ込まねばならない事情があるようです。後輩に何かおかしな点か聞いたとしても仕方ないのと返事しか帰ってきません。勧誘費は学祭売上の数倍かかっていました。何か策はないのでしょうか。部の存続のためには仕方がないと我々も思うしかならないのでしょうか。

総会後の懇親会で寺野先生にご挨拶をしていただきました。獨協の現状と未来について、栃木における医療の中核は獨協が行うべきであり、そのため何を行いそして何をすべきかをお話しされました。心臓・血管内科で教授になられたOBである阿部先生が「寺野先生が理事長に就任されてから獨協は飛躍的に変わりました」との言葉が印象に残ります。報告に来た現役に数々のOBが「君たちは本当に幸せ者だ。我々の時にはOB会など無くすべて自分たちで賄っていた。OB会のためにも上を目指してがんばれ！」と激励します。我々OBが現役に行くことは彼らも又後輩に同じことしてくれると思います。卒業したらOB会へ入会し年会費払っていただければそれだけ現役部員の負担が軽減されます。OB会の意義を知っていただくためにも今回から国家試験を終えた卒業生3名を総会に迎えたい。頼もしいことに3名とも「自己採点を行い余裕で合格すると思います」と述べていました。平林先生が彼らは本当に優秀だったと誉めておりましたが、寺野先生のお話から今は優秀でなければ獨協に入学できないと思いました。

私が獨協でアイスホッケーを始めた頃は日本リーグがあり6チームが存在していました。しかし雪印が無くなり数々の優勝経験を誇る西武鉄道と国土計画が姿を消しました。そんな状況の中我が部はまだ歴史を刻んでいます。その歴史を絶やさないためにOB・OG諸君から現役諸君へあり余る愛情を注げるように今後もOB・OGの皆様方にはご支援とご協力をお願いいたします。特に東医体は2年連続北海道で行われます。コイチを下さっている岡本さんの交通費及び宿泊代をOB会で負担しようとお話し合っています。部員及びマネージャー達にも少しでも援助が出来ないかと工面しているところですが連絡すら取れないOBが沢山います。もし、この新聞をお読みになり

ご連絡をいただけるのであれば、TEL048-866-3333、E-mail: seiko-h-kaib@postar.jp 聖光会グループ 本内獨協医大アイスホッケー部OB会事務局までご一報をお願いいたします。



平成26年度獨協医科大学アイスホッケー部OB会総会

より学祭での売上金です。あくどいと言われながらも練習を行うリンク代の為一所懸命稼ぎそれで充分活動する事が出来ました。昨年度の活動費はとて多額で私たちの時と今はあまりにも違うようです。年々学園祭が縮小されほとんど売上げが期待できなくなりました。昨年の学祭売上げは約11万円で活動費の足しになりません。さらに新入生との接触期間が限られ短い期間で勧誘しなければならずそこへ予算を注ぎ込まねばならない事情があるようです。後輩に何かおかしな点か聞いたとしても仕方ないのと返事しか帰ってきません。勧誘費は学祭売上の数倍かかっていました。何か策はないのでしょうか。部の存続のためには仕方がないと我々も思うしかならないのでしょうか。

総会後の懇親会で寺野先生にご挨拶をしていただきました。獨協の現状と未来について、栃木における医療の中核は獨協が行うべきであり、そのため何を行いそして何をすべきかをお話しされました。心臓・血管内科で教授になられたOBである阿部先生が「寺野先生が理事長に就任されてから獨協は飛躍的に変わりました」との言葉が印象に残ります。報告に来た現役に数々のOBが「君たちは本当に幸せ者だ。我々の時にはOB会など無くすべて自分たちで賄っていた。OB会のためにも上を目指してがんばれ！」と激励します。我々OBが現役に行くことは彼らも又後輩に同じことしてくれると思います。卒業したらOB会へ入会し年会費払っていただければそれだけ現役部員の負担が軽減されます。OB会の意義を知っていただくためにも今回から国家試験を終えた卒業生3名を総会に迎えたい。頼もしいことに3名とも「自己採点を行い余裕で合格すると思います」と述べていました。平林先生が彼らは本当に優秀だったと誉めておりましたが、寺野先生のお話から今は優秀でなければ獨協に入学できないと思いました。

私が獨協でアイスホッケーを始めた頃は日本リーグがあり6チームが存在していました。しかし雪印が無くなり数々の優勝経験を誇る西武鉄道と国土計画が姿を消しました。そんな状況の中我が部はまだ歴史を刻んでいます。その歴史を絶やさないためにOB・OG諸君から現役諸君へあり余る愛情を注げるように今後もOB・OGの皆様方にはご支援とご協力をお願いいたします。特に東医体は2年連続北海道で行われます。コイチを下さっている岡本さんの交通費及び宿泊代をOB会で負担しようとお話し合っています。部員及びマネージャー達にも少しでも援助が出来ないかと工面しているところですが連絡すら取れないOBが沢山います。もし、この新聞をお読みになり

